

「わこう市政学習おとどけ講座・和光市民大学を充実させるために」

2021/3/8

No.	わこう市政おとどけ講座			
	職員講師編へのご意見	ご意見に係る課の対応(6月)	今年度の取組	次年度の取組
1	タイトルを見ただけは、講座内容がわかりにくい。	令和3年度に向けて、ネーミングについても検討していきます。	広報わこう特集ページで職員講師編の講座タイトルと内容を掲載しました。	R2年度同様、広報わこうの特集ページに講座タイトルと内容を掲載します。
2	おとどけ講座があることを知らない人が多いのではないか。PRが不足しているのではないか。	今年度は、昨年度より20日程早くパンフレットを各施設に届けました。(4月1日配布) ポスターを新規作成し掲示します。また、市民の方が集まる各会議でパンフレット配布ができるか検討します。	新たにポスターを作成し、市内30か所ほどの掲示板に掲示しました。	適宜ポスターを見直し、掲示していきます。
3	何人ぐらいから講座が開けるかはっきりしていない。	パンフレット裏側にあった概要説明を表紙に掲載し、5名以上の団体であることをお示ししました。	新たに作成したポスターにも、5名以上で申込ができることを掲載しました。	ママ友、会社仲間など、具体的なグループを明示し、身近で気軽に活用できることをPRします。
4	受講者数を集められないことがある。個人で参加できるようにならないだろうか。	おとどけ講座の性質上、お申し込みは5名以上の団体でお願いします。個人参加ができる講座について検討していきます。	市民大学でおとどけ講座を活用し、個人での参加ができるようにしました。	職員講師編を市民大学のプログラムに加え、個人の参加ができるようにします。
5	もっとPRをするとうい。5人集まると依頼できることを周知してほしい。	広報わこう6月号の特集ページに子育て世代にも活用していただけるようPRしていきます。	広報わこうの特集ページで子育て世代へもPRしました。	令和2年度同様に進めます。
6	ホームページで短い動画が見られるようになるとよいPRとなる。	HPへの動画アップロードは難しい状況です。他の方法で周知に努めていきます。	取組はできませんでした。	和光市YouTubeチャンネル等の活用を検討します。
7	既に実施した講座の様子は、他の団体が開催する前に公開されているのか。	お問合せをいただければお答えすることができますが、HP等での公開は難しい状況です。	取組はできませんでした。	和光市YouTubeチャンネル等の活用を検討します。
8	学校の授業と連携を図るともっと活用ができるのではないか。	年度当初、定例校長会議や教頭会議の際、学校での活用を呼びかけました。	定例校長会議や教頭会議の際、学校での活用を呼びかけました。	引き続き、学校での活用を呼びかけます。
9	公民館などに置いてあるパンフレットが目立たない。	残部や設置状況の確認を行い改善を図ります。	公民館に残部確認を行い、適宜補充しました。	社会教育施設を中心に設置を進めていきます。
10	市民参加が広く進められるよう努めてほしい。	課でも、これまで以上におとどけ講座の内容を把握し、より広く市民の方に参加していただけるよう改善に努めます。社会教育委員のみなさんにも見学していただけるような機会を検討します。	おとどけ講座登録内容を活用し、生涯学習指導者研修会を開催しました。	引き続き、市民大学での活用を検討します。

No.	わこう市政おとどけ講座			
	生涯学習指導者編へのご意見	ご意見に係る課の対応	今年度の取組	次年度の取組
1	SNS等で活動の様子を紹介して若者への呼びかけをするとよい。	他市の状況を調査し、和光市にふさわしい発信方法を検討していきます。生涯学習プロデュース講座の様子を市HPに掲載しました。	生涯学習指導者プロデュース講座全3回の講座の様子と簡単な内容をHPに掲載しました。	和光市YouTubeチャンネル等の活用を検討します。
2	子どもから高齢者までのサロン等で利用しています。	引き続きご活用をお願いします。		
3	公民館を会場として使用したいが、どのようにすると使用できるのか周知されていないのではないか。	講座開催には会場は申込団体に用意していただくようお願いしています。公民館の登録団体は公民館使用が可能ですので、周知に努めます。	講座開催時に会場は申込団体に用意していただくようお願いしました。社会情勢により、講座開催が難しかったようです。	引き続き、周知に努めます。

No.	わこう市政おとどけ講座			
	生涯学習指導者編へのご意見	ご意見に係る課の対応	今年度の取組	次年度取組
4	障害のある方、高齢者、外国籍の方などに気軽に声かけや手助けができる「和光エイドマインド」を培っていききたい。学習した市民がガイドブックなどをつくる活動とおして意識を高め、市民に配布することで和光市全体に意識醸成を図っていく。	ご提言ありがとうございます。講師の招聘だけでなく、実現には、関係部署・機関との調整が必要となります。まず、手助けを必要とされる方への声かけや手助けの方法についての講座開催を検討していきます。	生涯学習指導者研修会において、人権尊重について啓発を行いました。講座開催等は実施できませんでした。	関係課やボランティア団体との連携を図り、実現を検討していきます。
5	和光市の図書館には、郷土資料があります。また、デジタルミュージアムも設置されています。これらを活用して、郷土ゆかりの人物や国指定の遺跡となった午王山について学び、「シビックプライド」を高めていきたい。	デジタルミュージアムについて見直しを図っているところです。午王山遺跡の国指定について周知を図るとともに、市政50年記念誌の作成等とおして、和光の文化遺産についてお知らせし、「シビックプライド」を高めていきます。	「国指定史跡 午王山遺跡について」をテーマに市民大学第3回を開催しました。デジタルミュージアムは、今年度中に更新します。	市の歴史や伝統文化、自然環境などの地域の特性に触れる学習機会を通して、地域への愛着と誇り(シビックプライド)を育んでいきます。

No.	和光市民大学			
	和光市民大学へのご意見	ご意見に係る課の対応	今年度の取組	次年度取組
1	パパたちも参加しやすい時間に開催してほしい。	講座計画の段階で、関係機関と協議します。	国の機関の講座は中止とし、個人では受講が難しいと思われる、県・市の出前講座を活用。今年度は会場確保を優先し、曜日は不定期で開催しました。	関係機関と協議します。
2	社会体育で学校施設を活用しているので、学校における講座開催も検討できるのではないかな。	学校の状況や講師の来場方法や施設・設備等の条件がクリアできれば可能となります。学校の活用も検討していきます。	学校施設を会場とすることは困難でした。	社会情勢の好転を待ち、講座内容に応じ、学校での開催も検討していきます。
3	受講年齢に偏りが見られる。解決する方法はないかな。	各機関との打合せの段階で対象者を確認していきます。	初めて曜日を変えて開催しました。40代50代の女性の参加が増えました。	曜日を固定せず、設定します。
4	対象年齢を設定すると講座のねらいがより明確になるのではないかな。	講座計画の段階で、関係機関と協議します。	受講者の年齢層を幅広く想定し講座のテーマを検討しました。	関係機関と協議します。
5	実績から若い方の参加が少ないことがわかる。若い方がもっと参加できるよう曜日や内容を検討するとよい。親子で参加ができるものや若い世代のリーダー育成講座などもあるとよい。	講座計画の段階で、関係機関と協議します。	公民館と情報交換しながら、若い世代の参加が積極的になるような講座の検討をしています。	曜日は固定せず、講座内容も検討していきます。
6	中央公民館が活用されているが、他会場での開催等を検討してほしい。	講座計画の段階で、関係機関と協議します。	今年度は和光市役所の会議室で開催しました。	市役所会議室の開催も検討しています。
7	開催日時をみると、参加者が高齢者となることが頷ける。	講座計画の段階で、関係機関と協議します。	午後の時間帯ではなく午前で開催しました。40代・50代の女性の参加が増えました。	開催曜日を固定せず、設定します。
8	地域の学校を利用したり、学校イベントとのコラボを図るとよい。同一講座が場所を変えて複数回実施できるとよいのではないかな。	関係機関との調整を要するため学校イベントとのコラボは難しい状況です。講座については、個人申込をお願いしておりますが、受講希望団体がある場合は、複数回実施について関係機関に依頼していきます。	規模を縮小し開催しました。	社会情勢により、実施を検討していきます。
9	「大学」というネーミングがとっつきにくい。誰でも楽しみに参加できるよう名称は例えば「カルチャー」などではいかがか。	「カルチャア」は趣味的な意味合いが強く感じられるため「大学」というネーミングを継続して使用します。「カルチャア」は生涯学習指導者講座としてお考えいただきます。	市民大学は規模を縮小し開催しました。毎回、市民大学の意義をお伝えし、理解に努めました。	「大学」「カルチャー」の用語を適切に使用していきます。
10	わかりやすいという評価が多かったのは良い。難しい内容のものでも参加者は多い。	市民のみなさんの申込状況に応じて、多くの方に参加していただけるよう案内・対応していきます。	国の機関の講座は中止とし、個人では受講が難しいと思われる、県・市の出前講座を活用。市のおとどけ講座の体験をしていただくことができました。	例年通り国の機関に依頼し、専門的な知識を学べるように講座を設定します。
11	たくさんの講座が実施され、参加者の感想を読むと好評だった講座が多い。どんなグループを想定してつくった講座なのかと考えた。講座内容がイメージしやすくなっていると感じやすいと思う。写真やSNS,HP等で案内してほしい。	講座の実施状況を紹介し、興味関心を持っていただけるよう努めていきます。	SDGsをテーマの一つに掲げ、広報・チラシ・ポスターにSDGsのロゴを掲載し周知しました。QRコードも掲載し、申込の簡略化をはかりました。LINEでも周知しました。	市HP、Twitter、LINEでPRを図ります。